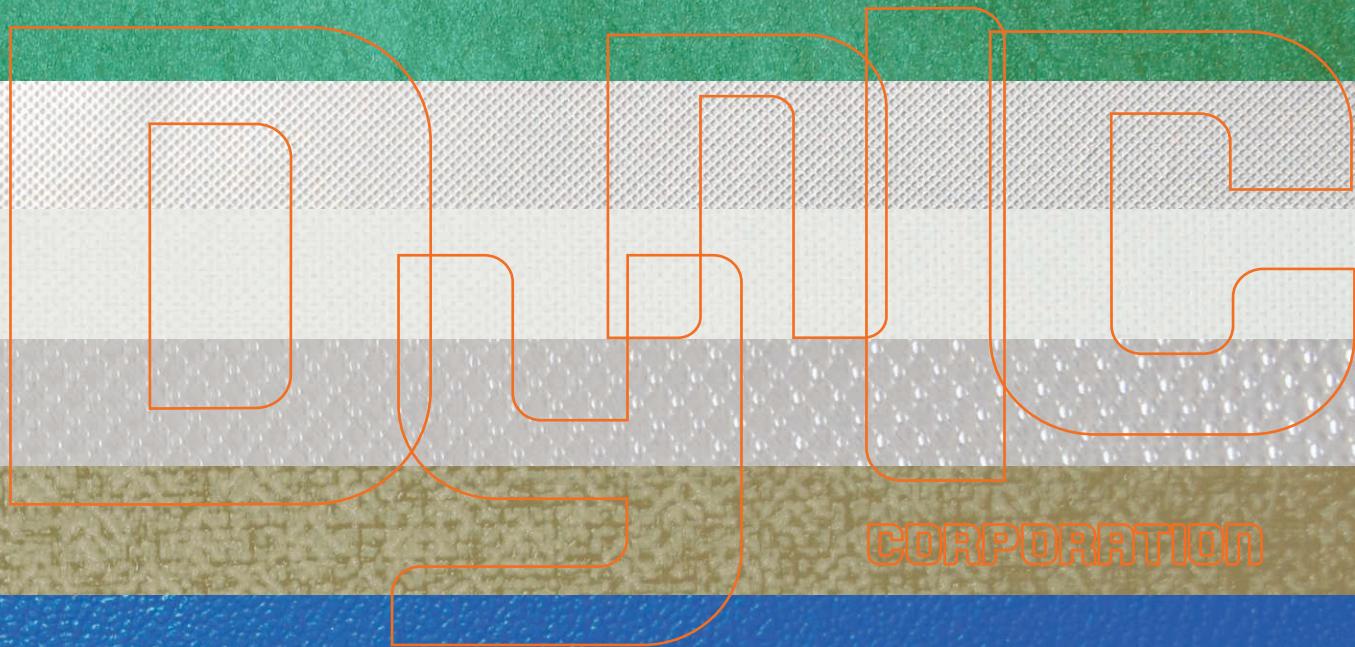


(証券コード 3551)



第 161 期報告書

2023年4月1日～2024年3月31日



技術の優位性
人の和

経営の理念

経営の基本方針

“For The Customer”

会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION	
本社	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26	
東京本社	TEL 075-313-2111 FAX 075-313-2116 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル)	
	TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146 ホームページ https://www.dynic.co.jp	
創立	1919年8月18日	
資本金	57億9,565万円	
発行済株式総数	8,504千株	
社員数	グループ合計1,131名	
営業所/事業所 (グループ含む)	札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡、 香港、シンガポール、米国、タイ、英国、 中国、インドネシア、チェコ	
工場 (グループ含む)	滋賀、静岡、東京、埼玉、栃木、 米国、タイ、英国、中国、インドネシア、チェコ	
関連会社	国内7社、海外11社	
主要商品	●文具紙工品用クロス	●壁装材
	●出版用クロス	●カーペット
	●プリンターリボン	●自動車内装用資材
	●銀行通帳用クロス	●各種フィルター
	●フィルムコーティング製品	●不織布
	●磁気関連製品	●産業用ターポリン
	●表示ラベル用素材	●接着芯地
	●名刺プリンタ	●各種ファンシー商品
	●有機EL用水分除去シート	●食品包材
	●パップ剤用フィルム加工	●紙管紙器

役員 (2024年6月26日現在)

取締役会長	大石 義夫
代表取締役社長	山田 英伸
常務取締役	佐々木 範明
取締役	高木 哲雄
取締役	中里 岳雄
取締役	新家 隆
取締役	坂本 啓
取締役	塚田 一範
取締役	福田 明治
取締役	竹下 昌弘
取締役	伊藤 祐子
取締役	下中 美都
常勤監査役	山下 隆司
常勤監査役	重松 直樹
監査役	奥谷 洋之
監査役	渡辺 伸充

- (注) 1. 取締役のうち、伊藤祐子、下中美都の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役のうち、奥谷洋之、渡辺伸充の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第161期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

第161期の売上高につきましては、印刷情報関連事業が若干の減収となりましたが、全体では前年度比微増となりました。利益面につきましては、住生活環境関連事業における生産面強化による採算性改善が実を結び、全体では前年度比増となり、連結ベースで別記のような結果となりました。

配当につきましては現状および来期以降の事業展開等を考慮して、一株当たり25円とさせていただきます。

第162期の当社グループを取り巻く環境は、為替変動や原材料価格および調達コストの高騰等、引き続き厳しい状況が予想されますが、「中期経営計画 SOLID FOUNDATION 2026」に沿って販売の強化・採算の改善・開発の強化と非財務項目に取り組み、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2024年6月

代表取締役社長 小田英伸

●MD&M West 2024に出展

2024年2月6日（火）から8日（木）にカリフォルニア州のアナハイムで開催されたMD&M West 2024に出展しました。MD&M Westは、毎年開催される医療関連分野にかかわる全米最大級の展示会です。

当社は、高性能水分除去シート「水分ゲッター」を展示しました。有機ELディスプレイ（OLED）に多く使用されている「水分ゲッター」は、密閉された機器内の水分を除去する特性に長けており、医療機器類の汎用部材等にも使用されています。当社ブースには、世界各地から多くの医療関係者様にお立ち寄りいただきました。

当社としては、少しでも医療機器類の性能向上の手助けになれるように進めてまいります。また「水分ゲッター」は、光デバイス（WSS）や各種センサー等、極端に水分を嫌う電子デバイスへの使用も期待されています。



当社ブース

●パーティション表皮材に 当社製不織布採用

オフィス家具メーカーの(株)オカムラと事業所向け通販サービスを運営するアスクル(株)が共同開発したオフィス家具シリーズ「Justus（ジャスタス）」が2023年11月8日（水）に発売されました。

デスクやチェア等の全200アイテムで展開されている同シリーズのユニットタイプのパーティションの表皮材に当社製の不織布が採用されました。



当社製不織布を使用したパーティション

●TAKEO PAPER SHOWにて 当社製紙クロスを展示

2023年10月13日（金）から22日（日）にKANDA SQUARE HALLにて、(株)竹尾が主催した TAKEO PAPER SHOW 2023「PACKAGING—機能と笑い」が開催され、2019年以降に発売した新製品やリニューアル品を紹介するコーナーで、当社製の紙クロス「ディパーレCoC」と染め布クロス「D-シルキーCoC」が展示されました。

また会場にて先行販売された書籍の表紙と、会期中に使用する紙袋には紙クロス「タスファイン120 TWMS ハイパーホワイト」が採用されました。



ディパーレCoC/D-シルキーCoCの展示



採用された書籍と紙袋

●コニカミノルタ(株)内展会で シータスPODシリーズを展示

2023年11月16日（木）から17日（金）にコニカミノルタ(株)のショールーム（浜松町ビルディング）で内展회가開催され、印刷前工程や後加工などの印刷に役立つ情報を紹介する「Accurio Days 2023」に当社ブースを出展して、カラーレーザープリンタ対応の「シータスPODシリーズ」を展示しました。

同製品は、不織布・クロスをベースにした商品で、カラーレーザープリンタに対応したメディアです。耐水性・引き裂き強度等の耐久性に特に優れているため、ゼッケンをはじめバナー・ノボリ等幅広いジャンルで高い評価を得ています。



当社ブース

経営の実績 当期の概況

当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行による経済活動の正常化や、インバウンド消費等により、回復基調で推移しております。一方、円安の進行に伴う物価上昇や、ロシア・ウクライナ情勢、中東情勢等の地政学リスクとそれに伴う燃料や原材料価格の高騰も懸念され、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「中期経営計画SOLID FOUNDATION 2026」でセグメントごとに掲げた「強化する」、「改善する」、「変える」分野の取り組みに注力し、事業活動を進めてまいりました。原材料・燃料価格上昇分に対する価格転嫁や、生産部門での採算性改善を推進し、中期経営計画に沿った取り組みを進め、前期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は42,101百万円（前期比1.3%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益1,238百万円（前期比63.9%増）、経常利益1,488百万円（前期比42.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は848百万円（前期比63.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

■印刷情報関連事業

印刷被写体においては、紙クロスは主力の出版・文具の分野で市場縮小する中、値上げと原価低減活動による採算性改善が進み、また展示会装飾用クロスを受注が好調に推移したこともあり、前期比で増収増益となりました。フィルムコーティング製品は自動販売機用途で環境対応素材が好調に推移し、前期比で増収増益となりました。産業用の品質表示用ラベルは、国内でリネンサプライ用途ラベルが好調に推移しましたが、海外向けはアパレル用途等が前半期までの需給調整の影響で、前期比で減収となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンが、海外向けで前半期までの需給調整の影響を後半期でカバーしきれず、前期比で減収となりました。

その他、有機EL用水分除去シートは、医療機器用途等が好調に推移し、前期比で増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は19,056百万円（前期比0.6%減）、営業利益は採算性が改善し1,467百万円（前期比16.3%増）となりました。

■住生活環境関連事業

不織布は、展示会用カーペットが期を通して好調な受注に対応すべく生産を強化し、住宅用床吸音材や車輛用不織布も堅調に推移して、前期比で増収となりました。

壁装材は市況が軟調で、出荷数量では前年度を下回りましたが、値上げ実施により、前期比で増収となったものの、足元では、原材料価格の高騰が続き、利益を圧迫しました。

産業用ターポリンも苦戦が続き、全般的に低調で、前期比で減収となりました。

その結果、当セグメントは、市況回復および値上げ実施による増収と生産面強化による採算性改善で、売上高は13,716百万円（前期比3.2%増）、営業利益は379百万円（前期比353.7%増）と大幅な増益となりました。

■包材関連事業

食品包材・蓋材は、主に海外向けで乳製品・乳酸菌飲料等の消費が低調で、採算性改善に取り組んできましたが、原材料価格上昇分の販売価格転嫁が遅れたこともあり前期比で減収減益となりました。医療用パップ剤用フィルム加工は海外向け受注が堅調に推移し、前期比で増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は7,235百万円（前期比0.6%増）、営業利益は176百万円（前期比27.0%減）となりました。

■その他

ファンシー商品は、主要顧客向けを中心に堅調に推移し、前期比で増収となりました。

また、商品運送・庫内整理は、受注減少により前期比で減収となりました。

その結果、売上高は3,346百万円（前期比1.7%増）、営業利益は97百万円（前期比9.6%増）となりました。

■対処すべき課題

次期の見通しにつきましては、わが国経済は、雇用や所得環境の改善がみられ、景気は回復基調にありますが、為替変動や地政学リスクに伴う原材料価格および調達コストの高騰等、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況下、当社グループにおきましては、2023年4月より「中期経営計画SOLID FOUNDATION 2026」に取り組んでまいりました。第1期目は売上高（達成率95.7%）と営業利益（達成率95.2%）は未達だったものの、経常利益（達成率99.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益（達成率105.9%）、ROE（達成率105.3%）は概ね良好な結果となりました。

第2期目についても、販売の強化・採算の改善・開発の強化と非財務項目に着実に取り組むことで、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

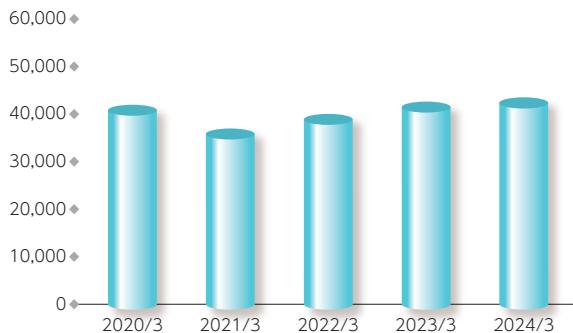
また、コーポレートガバナンスの強化に積極的に取り組み、企業の社会的責任を果たすとともに、内部統制の維持・向上、リスク管理体制の強化を継続的に進め、透明性の高い経営体制の下で、株主をはじめとするステークホルダーの皆様に対する経営責任と説明責任を果たしてまいります。

次期（2025年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高45,000百万円、営業利益1,700百万円、経常利益1,850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,150百万円を見込んでおります。

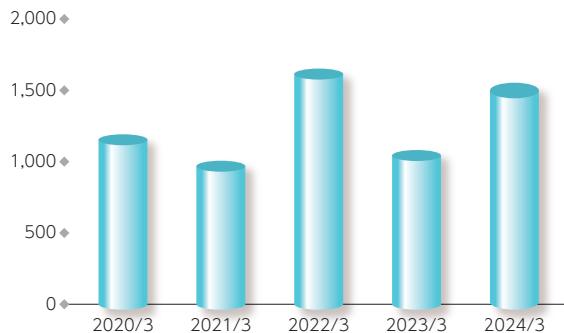
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト (連結)

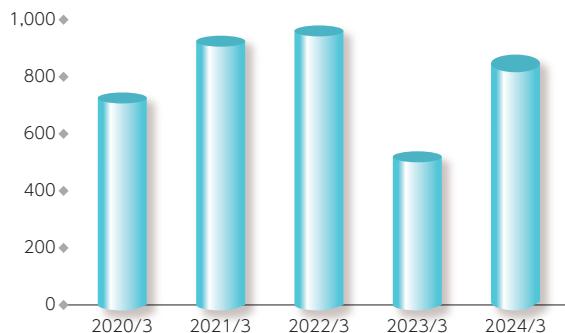
■売上高 (単位：百万円)



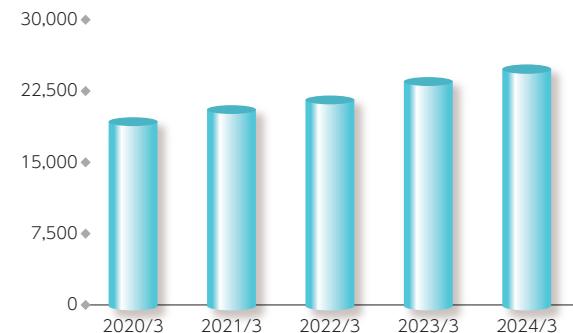
■経常利益 (単位：百万円)



■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



■純資産 (単位：百万円)



		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	(百万円)	40,866	35,865	38,946	41,553	42,101
営業利益	(百万円)	1,045	849	1,445	755	1,238
経常利益	(百万円)	1,153	968	1,614	1,043	1,488
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	726	925	961	520	848
売上高営業利益率	(%)	2.6	2.4	3.7	1.8	2.9
純資産	(百万円)	19,267	20,639	21,599	23,213	24,674

財務諸表の概要 (連結)

貸借対照表

(単位：百万円)

■資産の部

科目	前 期 2023年3月31日	当 期 2024年3月31日
流動資産	26,532	27,779
現金及び預金	4,065	4,670
受取手形、売掛金及び契約資産	7,842	8,502
電子記録債権	4,844	5,153
棚卸資産	9,279	8,853
その他の流動資産	513	614
貸倒引当金	△11	△13
固定資産	31,096	32,193
有形固定資産	20,116	19,915
建物及び構築物	5,130	4,946
機械装置及び運搬具	3,815	3,816
土地	10,286	10,345
その他の有形固定資産	885	808
無形固定資産	94	82
投資その他の資産	10,886	12,196
投資有価証券	6,534	6,344
退職給付に係る資産	949	2,122
繰延税金資産	250	208
その他の投資	3,174	3,538
貸倒引当金	△21	△16
資産合計	57,628	59,972

■負債の部

科目	前 期 2023年3月31日	当 期 2024年3月31日
流動負債	23,821	24,293
支払手形及び買掛金	8,213	8,988
短期借入金	13,589	12,707
未払法人税等	131	356
事業整理損失引当金	—	65
設備関係支払手形	404	392
その他の流動負債	1,484	1,785
固定負債	10,594	11,005
長期借入金	6,305	6,605
退職給付に係る負債	362	396
再評価に係る繰延税金負債	1,299	1,299
事業整理損失引当金	116	—
その他の固定負債	2,512	2,705
負債合計	34,415	35,298

■純資産の部

科目	前 期 2023年3月31日	当 期 2024年3月31日
株主資本	17,022	17,661
資本金	5,796	5,796
資本剰余金	945	945
利益剰余金	10,384	11,023
自己株式	△103	△103
その他の包括利益累計額	5,888	6,728
その他有価証券評価差額金	2,334	2,196
土地再評価差額金	2,799	2,799
為替換算調整勘定	502	797
退職給付に係る調整累計額	253	936
非支配株主持分	303	285
純資産合計	23,213	24,674
負債・純資産合計	57,628	59,972

損益計算書

(単位：百万円)

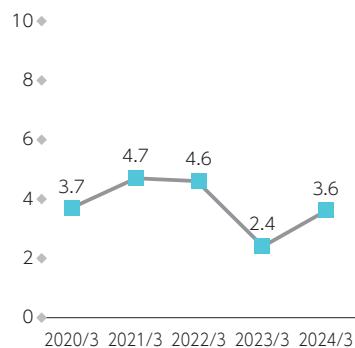
科目	前 期 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当 期 2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	41,553	42,101
売上原価	34,360	34,558
売上総利益	7,193	7,543
販売費及び一般管理費	6,438	6,305
営業利益	755	1,238
営業外収益	700	786
営業外費用	412	536
経常利益	1,043	1,488
特別利益	105	13
特別損失	333	191
税金等調整前当期純利益	815	1,310
法人税、住民税及び事業税	338	461
法人税等調整額	1	43
当期純利益	476	806
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△44	△42
親会社株主に帰属する当期純利益	520	848

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前 期 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当 期 2023年4月1日～ 2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	575	3,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438	△1,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	440	△1,092
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	81
現金及び現金同等物の増減額	671	569
現金及び現金同等物の期首残高	3,271	3,942
現金及び現金同等物の期末残高	3,942	4,511

自己資本当期純利益率 (単位：%)



会社の株式に関する事項 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数 **30,000,000株**
 発行済株式総数 **8,504,747株 (自己株式139,093株を含む)**
 株主数 **3,253名**

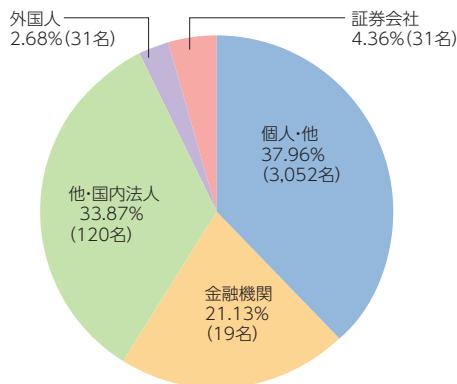
当社の大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ニックグループ持株会	479	5.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	282	3.37
ダイニック従業員持株会	264	3.16
株式会社ヤクルト本社	206	2.47
株式会社三井住友銀行	200	2.39
みずほ信託銀行株式会社	200	2.39
住友不動産株式会社	197	2.35
株式会社滋賀銀行	192	2.29
株式会社武蔵野銀行	192	2.29
オー・ジー株式会社	172	2.06

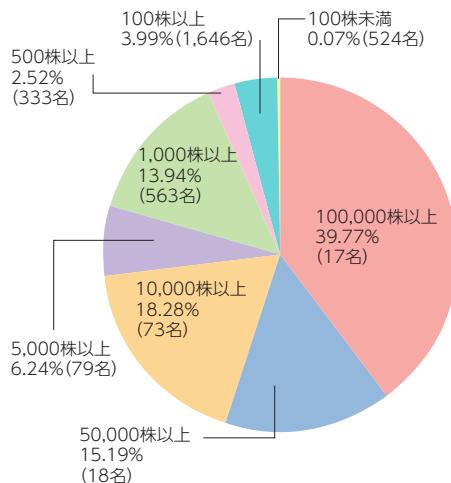
(注) 持株比率は自己株式 (139,093株) を控除して計算しております。

分布状況

所有者別



所有数別



ダイニックグループ (2024年3月31日現在)

(国内)	(海外)
ダイニック株式会社	DYNIC SINGAPORE PTE.LTD.
ダイニック・ジュノ株式会社	DYNIC (HK) LTD.
大和紙工株式会社	DYNIC USA CORP.
ニックフレート株式会社	THAI STAFLEX CO., LTD.
ダイニックファクトリーサービス株式会社	DYNIC (UK) LTD.
オフィス・メディア株式会社	DYNIC (CZ) s.r.o.
大平産業株式会社	大連大尼克辦公設備有限公司
大野クロス株式会社	昆山司達福紡織有限公司
	達妮克國際貿易(上海)有限公司
	TPCNIC CO.,LTD.
	PT.DYNIC TEXTILE PRESTIGE

本社および事業所 (グループ含む)

東京本社	東京都港区新橋6-17-19 (新御成門ビル) 〒105-0004 TEL (03) 5402-1811
京都本社	京都市右京区西京極大門町26 〒615-0812 TEL (075) 313-2111
王子分室	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-9333
大阪支社営業所	大阪市中央区南船場2-5-12 (クリスタファイビル) 〒542-0081 TEL (06) 6262-3010
名古屋支社営業所	名古屋市中区葵1-26-14 (シノダビル) 〒461-0004 TEL (052) 979-2370
札幌営業所	札幌市白石区中央三条4-3-47 〒003-0013 TEL (011) 825-1344
福岡営業所	福岡市博多区東光2-20-22 〒812-0008 TEL (092) 451-9232
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字多賀270 〒522-0341 TEL (0749) 48-1717
埼玉工場	埼玉県深谷市内ヶ島500 〒366-0831 TEL (048) 572-3311
王子工場	東京都北区浮間5-4-44 〒115-0051 TEL (03) 3966-0171
富士工場	静岡県富士市宇東川西町1-2 〒417-0854 TEL (0545) 52-3885
真岡工場	栃木県真岡市松山町16 〒321-4346 TEL (0285) 82-4121

ダイニックホームページのご案内

当社の製品情報や I R 情報など、詳しい情報を掲載しております。是非ご覧ください。



単元未満株式の買取・買増制度のご案内

証券取引所 (金融商品取引所) で売買できない単元未満株式は、以下の方法で処分することができます。

●単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。



●単元未満株式の買増制度を利用

単元未満株式を当社から市場価格で買い増して、単元株とする制度です。



単元未満株式の買取および買増にかかる当社の手数料は**無料**※です。ご利用をご検討ください。

※お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

本件に関してご不明な点がございましたら、お取引の証券会社、または下記の当社株主名簿管理人までお問い合わせください。

株主名簿管理人

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
基準日	3月31日	
定時株主総会	3月31日	
剰余金の配当	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）	
定時株主総会	6月下旬	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社	
	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受 取り方法の変更およびマ イナンバーのお届出など のお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 
未払配当金、その他当社 株式関係書類について のお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ させていただきます。	ホームページ： https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供 制度(書面交付請求)につ いてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ 信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増 以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口 座を開設し、株式の口座振替手続を行って いただく必要があります。
株式等に関するマイナ ンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーの お届出をお願いします。	

上場証券取引所 東京

証券コード 3551

公告方法 電子公告 (<https://www.dynic.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない
場合には、日本経済新聞に掲載して行います。



〒105-0004
東京都港区新橋 6-17-19 (新御成門ビル)
TEL 03-5402-1811 FAX 03-5402-3146

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。